

12月1日（金）午後2時より 市岡高校にて開催

地下鉄・JR環状線「弁天町」駅より東南東へ約400m **★お願い 名札と上履きをご持参ください。**

教材	進路保障	ケーススタディ
<p>人権担当はここで悩んでいる ～「言葉と人権」と教職員の 人権意識向上について～</p> <p>日々の何気ない場面や行事等で表出する、生徒たちの気になる言葉遣い。教職員どうしの会話でも気になることもあるかもしれません。今回はいくつかの学校から、文化祭で表面化したケースや、生徒たち自身に考えさせるための「言葉と人権」の実践等を紹介していただきます。</p> <p>もう一つ現場で課題となっているのが、教職員の人権意識向上ではないでしょうか。人権担当が地道に取り組んできた成果や、困っているところ等を交流したいと思います。</p> <p>人権教材交流会！</p> <p>大好評の人権教材持ち寄り交流会。今回は教職員人権研修に関する教材を募集します。これまでに参加した教職員研修の資料をぜひお持ちください。他の人権学習教材やこれ使えるかも？というような「新聞記事」「ドラマ」「マンガ」等の素材の紹介も大歓迎です。</p> <p>※印刷して40部お持ち寄りください。 例：「ケータイがもめごとのタネにならないために」・「文化祭における女装 男装について」</p>	<p>進路保障のあり方③ ～小学校・中学校の 取り組みから考える～</p> <p>今回の進路保障部会では、4年ぶりに外国にルーツのある児童・生徒の進路保障について取り上げます。</p> <p>大阪市内の中学校で学校力UPコラボレーターとして活動され、外国にルーツのある生徒の学習支援をされている中村浩三さんと市立敷津小学校で日本語・教科学習支援のサポートをされている濱寄愛夏さんより、外国にルーツのある子どもたちの生活支援や進路保障の意義についてご報告を頂きます。</p> <p>小・中学校に在籍する外国にルーツのある児童・生徒の生活背景や、日本語の学習等における課題について学び、進路保障を進めていく上で大切なものは何か、また、府立学校として、小・中学校、地域と連携し、さまざまな課題のある子どもの進学と進学後の支援や校種間連携のあり方について考え、日々の実践につなげていけたらと思っております。</p> <p>この機会にどうぞお越しください。お待ちしております。</p>	<p>外部連携で乗り越える ～SSWの活用で生徒も 教職員も元気になる～</p> <p>学校生活や家庭環境に課題を抱える生徒を早期発見し、居場所を確保するにはどうすればよいでしょうか。今年度、信太高校は「居場所づくり」と「SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）の活用」による生徒支援を開始されました。SSWの活用は効果抜群で、これまでなら対応に困ったケースも見事に解決。来校したSSWの元には相談したいことのある教職員がたくさん集まってくるそうです。今回は、信太高校の森永さんとSSWの野田さんにご報告いただき、外部人材との連携について考えます。</p> <p>報告後は、野田さんへの質問コーナーや「不登校」をテーマに交流も行います。困っていることがあればケース部会へ！奮ってご参加ください！</p>

◆◇フィールドワーク情報◇◆

北ブロック

日 時

11月17日（金）

14：30～17：00

集合場所

らいとびあ21 3Fホール
(箕面市立萱野中央人権文化センター)

南ブロック

日 時

11月24日（金）

14：30～17：00

集合場所

JR環状線「芦原橋」駅北口

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1丁目7番106号

府立柴島高等学校内

※通送便には「府立人研」とお書きください

TEL・FAX 06-6324-3822（直通）

E-mail furitsujinken@nifty.com

ホームページ <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>